

愛してやまない 私の地元

今日の地元
埼玉県草加市

執筆：プロジェクトマネジメント事業部 見並 圭一

今回は私の住む街、草加をご紹介します。生まれはお隣の足立区ですが、草加にもちょいちょい遊びにきていたので子どものころからとても馴染み深い街です。

草加と聞いてまず煎餅を思い浮かべる方は多いかと思いますが、もともとこの辺りは稲作が盛んだったようで、江戸時代、日光街道の2番目の宿場町として栄えたということもあり、農家の間食用のおやつだった煎餅を旅人のお土産として売り出し有名になったみたいです。煎餅や宿場町にちなんだ名所は個人的にも好きなので紹介します。

1) 草加松並木

「草加松原」「千本松原」と呼ばれ親しまれている松並木です。旧日光街道の綾瀬川沿い約1.5キロの「日本の道百選」にも選

ばれた美しい景観の道です。明治10年には約800本あった松も、昭和40年ごろには自動車の通行量の増加による排気ガスの影響で60数本まで減少しました。その後、市民団体の熱意により、現在は約600本まで回復しています。

私は草加の駅周辺に住んでいますが、意外にも緑はとても少なく限られます。散歩やジョギングをする人にとっては特に親しまれている場所だと思います。

2) 歴史民俗資料館

大正15年、草加小学校西校舎として建てられた埼玉県初の鉄筋コンクリート造校舎で、国の登録有形文化財に登録されている趣のある建物です。歴史資料や民俗資料を展示しており、無料で見られてなかなか面白いです。収蔵品には、丸木船(縄文時代前期)、

土器(古墳時代)、古文書などがあり、その他、建築家の大川勇のコーナー、郷土の作家・豊田三郎とその娘、森村桂のコーナー、松尾芭蕉コーナーなども設置しています。

草加には全然関係ないですが、5億年前のアンモナイトの化石が無造作に展示されていたりして、違う意味でも面白いです。



▲草加松並木



▲歴史民俗資料館

3. POS 情報取得

店舗ご来店時に会員カード・ポイントカードから情報を得ることでご来店有無と購入有無と商品内容を取得

4. 分析

配信内容とそれに対するお客さまの反応・行動を分析

5. 企画立案

キャンペーンなどの内容や配信時期、配信先のターゲットを再検討

より踏み込んだ内容をマッチする属性の方に限定してお伝えすることができ、DMやメルマガの質が上がり、キャンペーンや商品ラインアップへまでのストーリーが描けてきます。さらに EC サイトと連携すれば相乗効果も見込めます。

お客さまにとっても有益な情報のみ得られることで、メールなどの開封率改善、購買意欲の向上に結びついてくるのではないのでしょうか。

お客さまへのアプローチとして、DMやメルマガなどを活用されていると思います。その反響はいかほどであったのか Web 上で完結するのであれば、図る方法はいくらでもあります。一方、実店舗との連携となると、その効果を図るのは容易ではありません。はがきやチケットを送ってその半券などを実店舗で改修したり、店舗でアンケートを取ったりする方法はありますが、店舗への負担は少なくはないはず。顧客管理システムと連携することにより、その効果を図ることができます。

DM やメルマガを配信した方が、配信後一定期間内に店舗に足を運んでいただけたのか、商品を購入していただけたのか、どのような商品を幾ら購入いただけたのかを管理します。顧客管理システムとメルマガやDMをお送りするシステムを連携を行います。

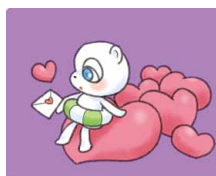
1. ターゲット抽出

年齢・性別・お住まい・購入履歴(商品・金額・購入日・店舗…)などの条件で配信ターゲットを選定

2. メール・DM 配信

抽出したターゲットにマッチしたキャンペーンなどのメルマガ・DM を送付

編集後記



創立記念日に高尾山へ登り、学生の時に登った金剛山の耐寒登山を思い出しました。高尾山はそこまで環境的に厳しくなかったですが、確実な体力の衰えを感じさせてくれました。日々体力をつけておくことの重要性を教えてもらった気がします。

IT コンサルティング事業部 kawamoto

The 集客

せっかくの顧客情報、
正しく活かしていますか？

執筆：ITコンサルティング事業部
村上 宜久



アイロベックス通信は
弊社 HP 上からもダウンロード頂けます。
最新号、バックナンバーも掲載中です。

URL→<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>

アイロベックスのソーシャルメディア

Twitter→http://twitter.com/ilovex_official

Facebook→<http://www.facebook.com/ilovex.co.jp>

ilovex MAGAZINE 通信

アイロベックスが月1でお届けしている広報誌

02
February .2013
Vol.89

創立 24 年目を迎えました
アイロベックス創立記念日 ～高尾山～

システムのバージョンアップ
社内の風邪ひき、NO 風邪ひきの生活や習慣の違い
幹部のひとつこと

*** 幹部のひとこと ***



IT コンサルティング事業部 中村千穂

去る、1月24日は当社アイロベックスの24回目の創立記念日でした。ここまで長くやってこれたのも、支えてくださるお客さまあってのこと。そして、一緒に働いてくれる社員、そんな社員を先陣切って引っ張って行ってくれる社長、幹部、取り巻くすべての人々のおかげと感謝する次第です。

さて、先日友人らと、一番働いたのは何歳くらいの頃？という話題で盛り上がりました。そうすると、男女を問わず30代と答える人がほとんどでした。システム開発はデスクワークと侮ってはなりません。

アイロベックスは 創立24年を迎えました

せん。地道な作業を長時間行いますので、集中力が重要となってきます。頭も使いますが、他業界の方が想像している以上に体力はもっと使います。そういったことから、ちょうど健康で働き盛りの年代が一番活躍できるのではないのでしょうか？

ということで、体力作りが一番と(?!)創立記念日には高尾山登山が開催されました。雪の影響もあって、本格的な登山とまでは行きませんでした。心も体もリフレッシュできたのではないかと思います。

社内の風邪ひき、NO風邪ひきの生活習慣の違い

記事：システム開発事業部
張 嵐

最近、風邪が流行っていますね。通勤電車の中ではマスクをしている方を良く見かけます。身動きのできない満員電車の中で近くの人が咳をしていると、自分も風邪をひいてしまわないか少し心配になってしまいます。

対策の一環として今年から“ウィルスブロッカーノヴァ”なるものを手に入れました。これは何かというと、携帯しているだけで1mの空間のウィルスやニオイ花粉をブロックするのだそうです。まだ携帯しはじめて半月しか経っていませんが、機会があればその効力の結果についてもご紹介させていただきます。

そこで、風邪をひく人、ひかない人の生活習慣を比べてみました。

	通勤途中	出社時	勤務終了後	帰宅後	翌朝
風邪をひかない人	ビビってマスク着用	オフィスに着いたらまず、うがい・手洗い	やっぱり怖いから、マスクを装着して退社	うがい・手洗いはもちろん 体調管理も気にして就寝	完全防備で出社準備
風邪をひく人	男らしく無防備	だいたいギリギリの到着 なので男らしく何もしない	勤務終了すると無性に 元気だから無防備で退社	やっぱり、まだ元気だから不 摂生＆夜更かし	なんか喉や頭がいたいので 会社に電話

以上のような傾向が見られました。
まとめると、

- ・臆病で準備を怠らない風邪をひかない社会人
- ・男らしく、帰社時だけは元気な風邪をひく人

といったところでしょうか。

男らしく、堂々と風邪をひく人にならないために、アイロベックスでは個人の取り組みのほか、会社としても風邪予防の対策を行っています。

オフィスは、パソコン台数も多く、サーバーも数台あり非常に乾燥しやすい環境です。そこでオフィスには3台の大型加湿器が毎日フル稼働し、社内の極端な乾燥を防いでいます。また、恐怖の「手洗いうがい表」というものがあり、出社時、昼食後、外出戻り時にうがいをしチェックを入れることを義務付けています。何が恐怖かというと、オフィスの入口にチェック表を設置しているので、誰がうがいをしていないか、代表の杉山は常に把握しているということです。チェックし忘れ、風邪をひこうものなら…考えるだけで恐ろしい。

そうはいっても最後は個人の意識の問題です。忙しかったり面倒と感ずることもありますが、ビジネスマンとして風邪をひくことは“恥ずかしいこと”であり個人だけでなく、周りやお客さまにご迷惑をお掛けしてしまうことを忘れずに社員一同過ごしております。

みなさまの職場で風邪や体調不良などでお困りであれば、アイロベックスとしては“恐怖のうがい手洗いチェック表”が一番効果があると思いますので導入をおすすめします。



▲大型加湿器が社内の湿度管理を担っています



▲うがいチェックシート

アイロベックス 高尾山に登山に行ってきました！ 創立24年記念イベント

去る2013年1月24日に、アイロベックスは創立24年目を迎え、社員一同で高尾山に登山に行き、参りました。普段なかなか動かす機会がない体を沢山動かし、心も体もリフレッシュすることが狙いです。登山組、お留守番組それぞれに一日の感想を聞いてみました。

by 内田

初めての登山、しかも残雪でしたが、想像していたよりも快適でした。「え、もう着いたの？」と初めての私でもあまり苦労なく頂上まで登ることができたので、次回は少し険しい道に挑戦しようかなと思います。

下山してからはグルメツアー気分で名物のとろろそば、新宿に戻ってからはかに道楽にてかに会席と盛大に創立記念日を祝いました！



薬王院近くの売店で一休み



関東の富士見100景に選定された山頂



絶品のかにのお刺身



@高尾山
(登山組)



社員全員から杉山にワインのプレゼント！

by 大久保

昼食に生まれて初めて関東風の濃いだしのおそばを食べました。ごちそうになっておいて何なんですが、やはり慣れ親しんだ関西風が一番だと思いました。これだけは譲れません。

また、夜は会社近くのかに道楽で宴会でした。飲み会でこれまた生まれて初めて蟹のお刺身を食べました。登山の疲れも消えるぐらい美味しくして幸せでした。

by 張

景色が素晴らしかったです。秋の紅葉も評判ですが、冬の雪で飾り付けられた高尾山も負けていません。また、先輩らの私服姿はめずらしく、日頃とはまた違った印象で普段見れない姿を垣間見ることができました。創立記念日のおかげで、普段と違う場所や雰囲気を感じることができ、気持ちの切り替えができてよかったと思います。このような社員全員で外に繰り出すのもいいなあと思いました。



お天気にも恵まれ、暑いぐらいでした。



お留守番組でランチに行きました



ディナーレベルのお値段の天井です

@新宿
(お留守番組)

私は仕事の関係でお留守番組でしたが、会社の粋な計らいで、いつもよりも豪華なランチをいただきました。日頃行かないお店なので場違いなのではないかとドキドキしました。次回は是非先輩方に連れて行っていただきたいと企んでいます！

by 高田

by 中村

なんといっても、高尾山のとろろそばが食べたかった…登山に参加したメンバーから誰一人アルコールを摂取していないと聞き、やっぱり私がついて行かなきゃダメだと改めて感じました。

でも、お留守番組で食べた天ぷらランチはとてもおいしかったのですが、ランチ後はオフィスでお仕事だったのでアルコールはいただいていません。それが私の心残りです。

システムのバージョンアップ

記事：プロジェクトマネジメント事業部 八田 忍

最近、よくお問い合わせを受けるのが、OSや開発ツールのバージョンアップ対応です。

一度パソコンに入れたままじゃ、そのパソコンが壊れない限りは確かに使えます。しかし、サーバーもパソコンも数年使い続けられ必ずガタがきます。当社でもおよそ5年くらいが買い替え時としています。そして新しいパソコンを購入したときには既に元のパソコンのOSやツールは販売終了していたり、サポートが切れてしまっているということが往々にしてあります。そうってからバージョンアップを行うのは非常に手間と時間がかかりますし、対応が難しい状況に陥っている場合が多いです。

例えば、バージョン1から2など次のバージョンへの移行というのは、開発元も当たり前のように考慮しているところですので、互換性があったり、移行ツールが用意されていたりします。しかし、1から3など間を飛び越してのバージョンアップは間が開けば開く程困難になってくるのです。

このため、バージョンアップ時には、一足飛びに上げるのではなく、各バージョンをそろえておいて、一つずつ上げていくという作業を行うこともあります。例えば、Accessであれば、Access97からAccess2000、Access2000からそれ以降といったものや、.NET Framework 1.0から1.1、1.1から2.0、2.0から3.0、3.5、4.0といった具合にです。

しかし全てのバージョンをそろえておくというのは難しいものです。バージョンアップせずに放置していた場合、途中のバージョンが販売終了していたりしたらもう対応ができなくなってしまいます。

可能であれば、早めのバージョンアップをご検討いただきたいのですが、手間や費用を考えるとそう簡単にもいかないと思います。私たちのようなシステム会社であれば、古い開発ツールも保管してありますので、なんとか対応できるものもあります。もし古いシステムでバージョンアップを忘れていた、というようなシステムがありましたら、一度ご相談してみてください。

